

SHOKOKAI

5

May 2020

地域を結ぶ総合情報誌 月刊 商工会

特集

ITツールで 競争力アップ

地域を訪ねて

熊野川、滔々と。
三重県南牟婁郡紀宝町

わたしのふるさと

タレント 松村邦洋さん

全国連FLASH

新型コロナウイルスを乗り越えるために
国に対して精力的に要望活動を実施



大山畳店 (埼玉県八潮市)

大山 恵美子

営業・知財担当

家族3人で営む小さな畳店が開発した、「畳の概念を覆す画期的な畳」。硬くて柔らかく、和室にも洋室にもなり、車いすや介護保険も使える畳だ。それを、さらに価値あるものにするため、奮闘する女性がいる。

渋沢栄一ビジネス大賞・特別賞を受賞

今年2月に行われた「第9回 渋沢栄一ビジネス大賞」(埼玉県主催)の表彰式。その壇上に、大山畳店(大山勝代表)の大山恵美子の姿があった。画期的な畳「リフォーム畳®」の開発と超高齢社会に即した機能性、また、自ら働きかけ、同商品が介護保険住宅改修助成金の対象になったことなどが高く評価され、特別賞を受賞したのだ。

「奇跡です！ 自分で応募して、プレゼンにも行ったんですよ」

昨秋のプレゼンの日のことは覚えていたのか、いないのかわからないほど緊張し、終了後、会場にバッグを忘れてしまったほどだ。だが、畳の需要が減少し、い草農家が激減す

おおよま えみこ

千葉県船橋市生まれ。結婚を機に、夫が創業した大山畳店を手伝う。「リフォーム畳®」のアイデアを商品にするため、東奔西走。八潮市商工会の支援で2019年、経営革新計画の承認を受けた

る状況下で、生き残りをかけて新商品を開発した経緯と今までにない畳の特性をしっかりと伝えた。

畳で洋室をつくる!?

同社は、1980年創業の畳専門店。先細るニーズに何か手を打たなければという思いは、十数年来ずっとあったが、あるとき、大山が思いついたのが「畳で洋室をつくる」ことだった。アイデアを実現するため、夫の勝、長男の勝也とともに試行錯誤を重ねた。

畳の特長の一つに、衝撃吸収力がある。高齢化が進むなか、家庭内での転倒が増加していることを考えあわせても、畳の存在価値はあるはず。そこに新たな機能性や価値を加え、現代のライフスタイルに合う畳を目指すという方向性が見えてきた。

そこで取り組んだのが、内側の畳床の構造を生かしつつ、畳表に異素材を採用すること。数え切れないほどの失敗の末、通常はい草を張る畳表をビニール系床材に替え、畳床の

洋間になる畳「リフォーム畳」®で、転倒事故を軽減させたい

上に下地板を敷いた。これなら、フローリング柄を使えば一見洋室に見えるうえ、車いすでも床が沈み込まない硬さ、強さと、衝撃を緩和できる柔らかさを両立できる。つまり、転倒やベッドから転落しても、ケガの軽減につながる畳が完成したのだ。

特許・商標登録の取得へ

「特許を取りたいんですが……」

商品化の途上、このすごいアイデアを守りたいと思った大山はある日、特許庁に電話をかけた。紹介された知的財産総合支援センター埼玉の支援を受けながら2014年1月、特許を取得した。もちろん、初めての挑戦だったが、特許書類はすべて自分で書いた。

「もう大変でした。特許はメーカーや他人に相談できないので、考え、想像するしかありませんでした」

続いて、同年12月には「リフォーム畳」の商標登録を完了。書類の山と格闘しながら、また、担当者との粘り強い交渉を経て、やり遂げた。「これで、高齢者など多くの方に喜んでもらえる商品ができました」と、

翌15年、リフォーム畳の販売を開始。介護関連などの展示会に出展しながら、販路を開拓していった。

そのなかで、多く寄せられたのが、「介護保険は使えないの？」という質問だった。当時の介護保険での住宅改修助成金の対象に、畳敷きから畳敷きへの変更は含まれていなかった。

「それなら認めてもらおう」

諦めたら終わりだから

大山は厚生労働省に、車いすが使える畳を新たにつくった旨を説明し、助成金の対象に畳を加えてもらえないかとの質問をした。その後、2017年7月に同助成金制度が改訂され、畳敷きから畳敷き、板敷きから畳敷きへの変更が認められたのだ。

「諦めたらそこで終わりだから、できることは何でもやりますよ」

そんな大山でも、くじけそうになるときはあつた。展示会で「商品はよくても、認知度がないので紹介できない」と言われたときだ。それでも、それなら認知度を上げようと思い直し、チャンスがあれば手を挙げてき

た。八潮市商工会が行う推奨品認定、八潮市が認定する「八潮ブランド」も、そうやって手にしてきた。

「夢はリフォーム畳を全国に広めること。それによって、転倒事故が少しでも減っていけば、本当にうれしいですね」
(敬称略)



02



01



04



03

01/リフォーム畳を製作中の大山勝代表 02/第9回 渋沢栄一ビジネス大賞で特別賞を受賞。大野元裕埼玉県知事と 03/苦労の末、登録された特許と商標の認定証。その下には、畳表に使うビニール系床材の見本が 04/作業場の2階にある自宅に、リフォーム畳を敷き詰めたショールーム。車いすでも沈まない硬さがありながら、弾力性もある